

「戻って来たい（住み続けたい）花巻ってどんなまち？」
をテーマにアイデアを出し合いました！



令和4年10月11日（火）18:00~19:30
花巻市定住交流センター | なはんプラザ

花巻市では現在、新たな「まちづくり総合計画※」の策定に向けて、市民の皆さんと一緒に、市が目指すべき理想の姿や、そのために必要な取り組みについて話し合いをするためのワークショップを開催しています。

高校生から22歳までの方が参加する【若者部門】では、10月11日に第2回を開催。32人の参加者のうち、20人の方にご出席いただきました（うち1人はリモート参加）。

今回は「戻って来たい（住み続けたい）花巻ってどんなまち？」がテーマ。若い世代の素直な気持ち、ふるさとに対する真剣な意見を、自分たちの言葉で共有し合いました。

※まちづくり総合計画とは？

まちづくり総合計画とは、花巻市をどのような「まち」にしていくのか、そのためにどんなことを実施していくのかを、体系的にまとめたものです。

花巻市に住む人が「住んで良かった、住み続けたい」と思えるよう、これからのまちづくり総合計画は、市民やさまざまな団体などと協力し、みんなの力で作りあげていくことが大切です。多くの方の声をまちづくりに反映させていく、まちづくり総合計画にはそんな大切な役割があります。

第2回ワークショップの流れ



第2回からはグループを固定。自己紹介を兼ねて、自分は近い将来花巻市に住み続けたいか、それとも市外に出たいか、またその場合はいつか戻って来たいと思うのか、それぞれ考えを共有しました。

前回の内容も踏まえ、「戻って来たい」「住み続けたい」と思うポイントを話し合いました。書き出したものの中から、共感することや譲れないことを整理。一般部門の検討内容も参考に、自分たちが願うまちの姿を自分たちの言葉でまとめました。

各グループでまとめた「将来の花巻市のありたい姿」やその背景を全体で発表・共有しました。

各グループで検討した「将来の花巻市のありたい姿」は右のページでご紹介します。

「戻って来たい（住み続けたい）まち」から見える
「将来の花巻市のありたい姿」



最先端を走る若者が主人公になれるまち、
市民みんなが温かく暮らしやすいまち

自分たち「若者」が輝けるまち！時代の最先端をいきたい！
みんなが幸せに、みんなが笑顔に過ごせるようにしていきたい！

安全安心な環境があり、
昔からあるものを大切にするとにぎやかなまち

道路や公園の安全を守りたい！祭りや文化を大切にすると花巻愛につながる！
若者が活動できる場があるといい！



花巻 Future クラフト
～みんなの手で～

花巻の豊かな自然や歴史を引き継いだ未来を見据えたい！
若者をはじめとした様々な人たちの「手作り」によってまちをつくっていききたい！

にぎわいと安心・自然を活かすまち
互いに認め合い、思いやりのまち

シャッター街に賑わいを！花巻の自然をまもりながら、登下校時の安全も！
なりたい自分やありのままの姿をお互いに認めあえるように！



安心・安全！唯一無二！
いつまでも好かれるまち！

明るい街灯で安心・安全！祭り・温泉は花巻市にしかないもの！老若男女どの世代が何年住んでも飽きない！

若者の欲望が集まる自然といやしがあふれる
WinWinなまち！

イベント、伝統芸能が受け継がれるようなまち！
安全と施設の外観に配慮できるようなまち！

若者がほしいものがあるまちに！地域の祭りを引き継いでいきたい！
シャッター街をなんとかしたい！



ワークショップを終えて

今回のワークショップでは、「住み続けたいと思えるまち」「進学・就職を機に市外に出てしまっても、戻って来たいと思えるまち」を目指すために必要なことや、そこから見えてくる「将来の花巻市のありたい姿」について考えました。限られた時間の中、自分たちの想いをそれぞれが自由な発想で表現。「安心」「安全」という意見が多く出たほか、若者の感性を生かしつつ、今あるものも大切にしたいという想いが現れた内容となりました。次回は、「戻って来たい」「住み続けたい」と思える花巻になるためにどうすればいいのか、それぞれの立場で何ができるのか、考えを深めていきます。